

焼岳の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）が継続＞

本日（11 日）実施した現地調査の結果、昨日（10 日）噴気が確認された火口及びその周辺で、特段の異常は確認されませんでした。

昨日、これまで明瞭な噴気活動のなかった場所で噴気が観測されたことから、引き続き火山活動の推移を注視しています。

今後、再び噴気活動が活発化する可能性があります。山頂付近にはなるべく留まらないでください。山頂付近に立ち入る際はヘルメットをかぶるなどの安全対策をしてください。また、火山ガスにも注意してください。

今後の火山活動の推移に注意してください。

○ 活動概況

本日（11 日）、焼岳の北北西約 4 km の地点から実施した現地調査の結果、昨日（10 日）噴気が確認された火口及びその周辺で、噴気は確認されませんでした。また、火口及びその周辺では明瞭な地熱域、地形の変化や噴出物は確認されませんでした。

火山性地震は 10 日 02 時以降、観測されていません。また、地殻変動等のデータに特段の変化は認められません。

昨日、これまで明瞭な噴気活動のなかった場所で噴気が観測されたことから、引き続き火山活動の推移を注視しています。

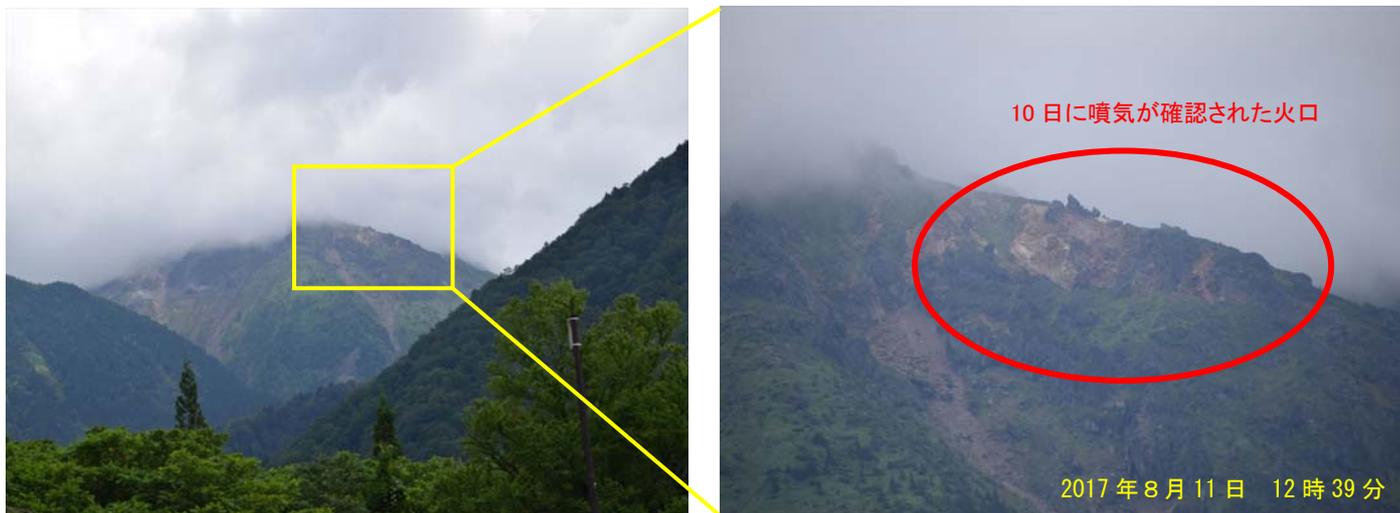


図1 焼岳 10日に噴気が確認された火口及びその周辺の状況

・噴気、明瞭な地形の変化や噴出物は確認されませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

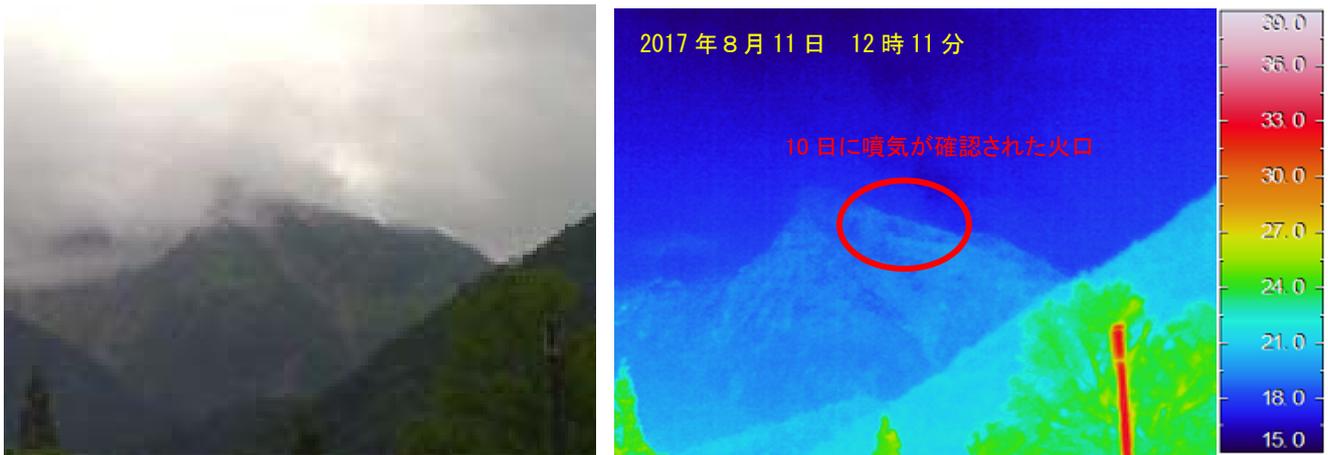


図2 焼岳 赤外熱映像装置による地表面温度分布

・10日に噴気が確認された火口周辺の明瞭な地熱域は確認されませんでした。

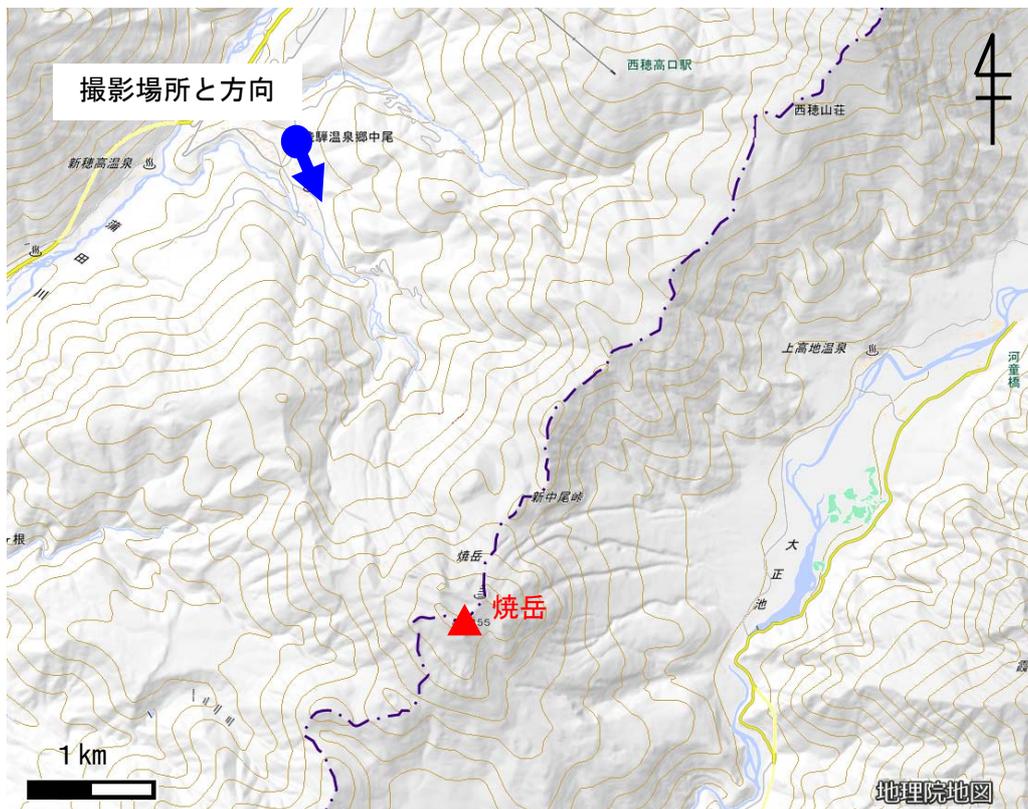


図3 焼岳 図1及び図2の撮影場所と撮影方向